

# 山形県感染症発生情報

第16週(平成22年4月19日～平成22年4月25日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	17	▲	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	7	△	
咽頭結膜熱	4	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112	▲	多発中
感染性胃腸炎	382	▲	多発中
水痘	43	▲	
手足口病	28	△	
伝染性紅斑	22	▽	
突発性発しん	28	▽	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	0		
流行性耳下腺炎	22	▼	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	3	△	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0	▽	
マイコプラズマ肺炎	1		
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第16週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	3	5	3	49
コレラ	0	0	0	0
3類感染症				
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	2	1	0	11
バラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	0	0	2
ウイルス性肝炎	0	1	0	1
急性脳炎	0	0	1	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	0	1	1

- 1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は0.35人で沈静化している。迅速キットによる陽性例は、報告された17名全てA型であった。地区別では、置賜地区で15～19歳の患者が増加している。衛生研究所のウイルス分離結果によると、4月27日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。
- 2 感染性胃腸炎は、2週連続で増加しており警戒が必要である。(定点当たり報告数 山形市:19.7人、山辺町:19.0人、高島町:20.0人、長井市:18.0人)
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、置賜・庄内地区で定点当たり報告数が多い。置賜地区では、先週に比べ約3倍増加している。(高島町:10.0人、米沢市:9.5人、鶴岡市:6.5人)。
- 4 伝染性紅斑が、庄内地区で先週に比べ減少しているが、依然として警報基準値(2.0人)を超えている。鶴岡市の定点当たり報告数が多い(鶴岡市:4.8人)。
- 5 流行性耳下腺炎は、庄内地区で流行していたが、2週連続で減少しており、警報終息基準値(2.0人)を下回った。
- 6 結核の患者が村山地区から1名(東南村山)、庄内地区から1名(田川)、無症状病原体保有者が置賜地区から1名(西置賜)、計3名報告された。また第15週分として、村山地区から無症状病原体保有者1名が追加報告された。
- 7 腸管出血性大腸菌感染症の無症状病原体保有者が、村山地区から2名報告された(OUT VT1)。

(4月27日現在 山形県衛生研究所)